

愛子“揺れる未来”拓く 不退転の午餐会

特別なパートナーと

総力特集

いますぐ 駆け込み買いすべき
最新 値上げ完全リスト

名医10人の老廃物^⑤出す デトックス習慣

特別価格 550円

4月9日号



桜花のウルトラ特大号

大谷翔平選手 熱狂っちゃん



感動生報

嵐

涙が止まらない あの時の5人が

秋篠宮家皇族費が足りない9年改修工事継続

SMAPもキンプリもTOKIOもできない / 10倍減量 若返りの秘持 / ファンへのラストメッセージ

私達の直前に起る巨震
看取りの専門家が明かす

玉置浩二のASKA テレビ初共演、45年親交
北川景子のDAIGO はげばけ 秘家族旅行
大谷翔平 怒りの和解 174日の徹底抗戦



未公開カット

国主「祝」冠!

朝「風、薫る」ラ見どころ紹介

足上げ1分体操
寝たきりにならない

花のきれいな公園 全15

春眠を快適にする保存版特集
睡眠のプロが厳選 眠りの質向上グッズ
専門医が本当にやっている 睡眠ルーティン

木梨憲武 韓国 ソウル
本当は教えたくない

名店から専門店まで から揚げを究める

100年血液を流す 長生き血管 作り方



人生を変えた補聴器

「後方からの車の接近音が聞こえず事故に」「友達の冗談が聞こえず、聞き返すのも失礼で人に会いつらなくなった」それが補聴器を使ったら……

補聴器の本音

「運動したり学んだりするなかで友達もでき、生活にもハリが出てきたのですが、次第にコーチや講師の音が聞こえにくくなって……。極めつきは、コロナ禍でのマスク生活。マスク越しではコーチや友達の声さがらに聞こえにくく、習い事へのやる気もなくなっていました」

山本夏美さん (仮名・81才) が補聴器の装用を考えたのは5年前、76才のときのこと。71才から卓球教室とパソコン教室に通っていたのだが、レッスンを支障をきたすようになってきたからだ。

山本夏美さんの場合
(仮名・81才)
娘(54才)と息子(51才)は独立。10年前に夫を亡くしてからひとり暮らし。8年前に耳鳴りが気になって耳鼻咽喉科を受診すると「加齢が原因」と言われ、難聴を意図するようになった。

「聞こえにくく、習い事へのやる気もなくなっていました」
「運動したり学んだりするなかで友達もでき、生活にもハリが出てきたのですが、次第にコーチや講師の音が聞こえにくくなって……。極めつきは、コロナ禍でのマスク生活。マスク越しではコーチや友達の声さがらに聞こえにくく、習い事へのやる気もなくなっていました」

「聞こえにくく、習い事へのやる気もなくなっていました」
「運動したり学んだりするなかで友達もでき、生活にもハリが出てきたのですが、次第にコーチや講師の音が聞こえにくくなって……。極めつきは、コロナ禍でのマスク生活。マスク越しではコーチや友達の声さがらに聞こえにくく、習い事へのやる気もなくなっていました」

私の補聴器はコレ!
メーカー/フォナック
タイプ/耳かけ型RIC
タイプ(充電式)
価格/両耳で約70万円

「耳かけ型を選びましたが、思った以上に目立たずうれしかったです。補聴器をつけてから、習い事がもっと楽しくなり、最近ではキーボード教室にも通うように。その課題曲をスマホで聞く際、補聴器がイヤホン代わりになるのも便利ですよ」
「ただ、急にいろいろな音が聞こえるようになり、その中には耳障りな音もありました。キッチンやトイレなどの水の音やヒールのこすれる音などは特に気になり、慣れるまで1か月ほどかかりました」
費用は両耳で約70万円。自治体から約6万円の補助

耳穴型
聞こえ方が自然でオーダーメイドも可
オーダーメイドならより耳にフィットして聞き取りやすい。ただし小さいので振りにくいことも。「耳の中が濡りやすい人は故障の原因になるのでおすすめしません」(田中さん)。

耳かけ型 R-COAST
Bluetooth機能をはじめ多機能
「音がクリアでイヤホンのように使え、ハンズフリー通話ができるなど多機能。目立ちにくいのも魅力」(田中さん)。「ただし、マスクや眼鏡をかける際、邪魔になることも」

デビューリアルエピソード

1つでも当てはまったら耳鼻咽喉科へ
□最近、聞き間違えることが増えた
□周囲の騒音(雑音)が気になって、肝心な話や言葉が聞き取れないことが多い
□相手に早口で話されると理解しづらい
□複数人で集まるとよく聞こえなくて会話についていけない
□以前のようにテレビや音楽を楽しめない
□インターホンの音に気づかないことが増えた

「テレビの音が大きい」「聞き返しが増えた」などと注意されるようになったら、耳鼻咽喉科専門医の市村恵一さんは言う。「聴力の衰えは50代から始まり、75才以上では約半数が難聴になります」(市村さん・以下同)

「聞こえにくく、習い事へのやる気もなくなっていました」
「運動したり学んだりするなかで友達もでき、生活にもハリが出てきたのですが、次第にコーチや講師の音が聞こえにくくなって……。極めつきは、コロナ禍でのマスク生活。マスク越しではコーチや友達の声さがらに聞こえにくく、習い事へのやる気もなくなっていました」

意外と知らない補聴器Q&A
いずれも音を増幅して聞き取りを補助する機器。「補聴器は医療機器ですが、集音器は音響機器。利用者の聴力に合わせて設計されていないため、聞こえが改善されることは限りません」(市村さん)。
費用はどのくらい?
補聴器の値段は両耳で20万円から100万円を超えるものまでさまざま。「価格差は機能差です。どんな場面でも何が聞きたいかを考え、ライフスタイルに必要な機能を持ったものを選ぶべきです」(市村さん)。
両耳にするべき?
日本における補聴器の両耳装着率は約50%。片耳だけ聴力が低下する場合は片耳装着が理想。「費用の問題で片耳にしつけられない場合は、認定補聴器技能者に相談を」(田中さん)。
補助金は出る?
補助金の有無や金額は自治体で異なる。「市区町村は独自に補聴器の購入補助を実施している。東京都中央区や江東区では約7万円の補助が認められています」(田中さん)。医療費控除の対象にもなる。
集音器との違いは?
認定補聴器技能者 市村恵一さん 補聴器適合判定医。東京みみ。はな。のど。サージッククリニック名誉院長。
認定補聴器技能者 田中智子さん 補聴器専門店「らくいず補聴器」代表。ユースに合った補聴器の普及を目指す。

中村久子さんの場合 (仮名・86才)

59才と55才の2人の娘は結婚し、夫は7年前に他界。現在は愛猫と暮らしている。10年ほど前からめまいに悩まされて耳鼻咽喉科に通院。運動療法で症状は軽減されたが、今度は難聴の症状が出始めた。

テレビや映画、友達とのおしゃべりを楽しみたい

テレビや映画を見るのが大好きな中村久子さん(仮名・86才)が補聴器を購入したのは、3年前の83才のときだった。

「テレビを見ていて、肝心のせりふが聞こえないことにイライラが募るようになってたんです。特に小声でつぶやくようにせりふを言う俳優さんは何を言っているのかわからない。また週に一度、女性のためのマージャン教室に通っていて、午前中に2時間ほどゲームをした後、お友達とおしゃべりしながらランチをするのが楽しみなのですが、ゲームはもちろんで、食事の際の会話が聞き取れなくなりました。特に冗談を聞き逃すと、「もう一度言ってくれませんか」と言えませんが、せめてテレビの音くらい聞こえるようになればと、最初は集音器を買いました(中村さん・以下同)



討するようになったという。試用期間を経て、納得して購入しましたが、補聴器をつけた当初は違和感がありました。私の場合、風の音や食器のぶつかの音、自分の足音が耳障りで、慣れるまでに2か月ほどかかりました。

「いちばん意外だったのは、うちの猫ちゃんの声。これまでは、奥ゆかしく小さな声で鳴く子だなあと思っていたのですが、補聴器をつけて聞いたら、結構大きくて野太い声だったんですよ(笑)」
聞こえ方は体調によっても異なり、疲れているときは、いまだに音がわずらわしく感じられる。そんなときは補聴器を外し、自宅ですくすくくとして静かに過ごし、無理のない範囲で活用し

私の補聴器はコレ!
メーカー/フォナック
タイプ/耳かけ型RICタイプ(充電式)
価格/両耳で約50万円

加藤昌子さんの場合 (仮名・72才)

夫と5年前に死別し、いまは40代の娘と2人暮らし。スポーツが趣味でジムに通っているが、5〜6年前から聞こえにくくなって、友達に声をかけられても気づかず無視してしまうことが増えた。

予算内で二丁に合う最適な補聴器を求め5店舗を巡った

補聴器デビューを考え始めたのが5年ほど前。娘との会話で聞き返すことが増えたからだという加藤昌子さん(仮名・72才)。その後、さまざまな店で試用し、購入を決めたのは3年前だ。

「私の父が補聴器ははずらわしくて嫌だ」と、せっかくなかったに便わすにたのを見ていたせいか、購入するまでがかなり迷いました(加藤さん・以下同)

しかし、耳鼻咽喉科で加齢性難聴と診断されたうえ、スポーツジムでも、友達からの声かけに気づかず無視することが増えたため、迷っていられたようになった。

「娘は『高価でも性能のよいものを選んでほしい』とヘッドバイスを選んでくれたのですが、私としては使ってみないとわからないので、30万円台くらいにしようかと決めていました。予算内で自分のニーズに合ったものを選びたいと、5店舗を巡って、さまざまな



メーカーの補聴器を試しました。試用期間は、2週間から3か月と店によって異なり、3か月試しても購入しないケースもあった。「補聴器は、購入後もメンテナンスが必要で、聴力の変化によっては買い替えなければなりませんから、担当者が親身になってくれることが大切だと思いました」

最終的に、説明が明確で要望を理解してくれる技術者のいる専門店に、耳かけ型を購入した。「眼鏡やマスクのかけ外しの際には注意が必要ですが、激しい運動をしても落ちないので安心して使っています。無視や聞き返しも減って会話がスムーズになりました」

複数の店舗を回るには体力が必要なので、その力があるうちに購入を考えたのがおススメだ。

私の補聴器はコレ!
メーカー/フォナック
タイプ/耳かけ型RICタイプ(充電式)
価格/両耳で約35万円

鈴木洋子さんの場合 (仮名・71才)

夫(72才)と息子(38才)との3人暮らし。最初に聴力の低下を指摘されたのは55才で受けた人間ドック。「50代で難聴になるわけがない」と放置していたら、60代に入って急激に聴力の低下を実感。

電池式は旅行には向かないと気づいて……

「はくが言っていること、聞こえている?」

と夫に指摘されて、補聴器の購入を決意した鈴木洋子さん(仮名・71才)。62才のときだった。定年まで正社員として働き、ある程度の貯蓄もあったため、さほど検討せずに、約50万円の耳穴型(電池式)の補聴器を両耳購入した。「2週間ほど試用期間があったので、相談や微調整のために補聴器店に足を運びましたが、行くたびに担当者が変わるの調整が進まず、面倒になっていきました。それで、「音は聞こえるし、これでいいかな」と妥協してしまっただです(鈴木さん・以下同)

しかし、調整が不十分だったせいか雑音がひどく、使い勝手も悪かった。「私は旅行が趣味なのですが、電池式はこまごまというときに電池切れになることが多くて困りました。海外の場合、聴力の落ちた耳で外



国語を聞き取るのは難しく、4年ほどがまんして使ったものの、近所に新しい補聴器店を見つけたのを機に、再購入を決めた。「今度は海外でも不自由なく使えるタイプがほしいと、認定補聴器技術者と相談を重ね、充電式の耳かけ型に決めました。私はショートヘアなので、できるだけ目立たないデザインがよかったです。それで耳穴型にこだわっていたのですが、いまは耳かけ型もスマートでおしゃれなデザインのものが多いことがわかりました」

微調整にも丁寧に対応してくれる専任の技術者と出会え、いまは不具合を感じないという。補聴器は商品の質だけでなく、認定補聴器技術者選びも重要なのだ。

私の補聴器はコレ!
メーカー/フォナック
タイプ/耳かけ型RICタイプ(充電式)
価格/両耳で約100万円

松本百合子さんの場合 (仮名・87才で他界)

夫と娘の百合子さん(仮名・現在55才)との3人暮らしだったカヨさんに聴力の低下がみられたのは50代のとき。補聴器をつけ始めたのは60代半ばで、他界するまでの約20年間、必需品だった。

50代で難聴になっていたが気づかず事故を起こし……

「私の家系は、もともと耳に問題があるようで、母は30代から耳鳴りに悩み、50代には聴力の低下が始まっていました」

と、亡き母・松本カヨさん(仮名・享年87)について語ってくれたのは、介護の仕事をする娘の百合子さん(仮名・55才)だ。

母は53才のとき、スクーターで走行中、背後から来た車に気がつかず接触事故を起こしました。幸い母は軽傷、先方は車体のかすり傷ですみましたが、肝を冷やしました。母は「急に車がでてきた」と主張していましたが、クラクションが聞こえなかったのだと思います(百合子さん・以下同)

聞き間違えも増え、イライラするようになったという。「テレビも音量なので、指摘すると、『聞こえる人には私のつらさがわからない』と怒り出す始末。しかし60代になると、本人も不便を感じるようになったのか、自



ら補聴器を買い出し出した。耳鼻咽喉科の医師から「感音難聴ですね」と言われたのを「かなりの難聴ですね」と聞き違えたのがきっかけになったようだ。

「補聴器をしてから母はイライラすることがなくなりました。見えました。補聴器の電池交換や調整は私がサポートしていたので、それに対する感謝から親子関係もよくなりました」

現在、百合子さんが勤める介護施設にも、補聴器によって表情が明るくなり、社会的になった人が大勢いるという。「補聴器は本人だけでなく、家族にも役立つものになることかあるのだから、聞こえに問題がある高齢者には、できるだけ早く補聴器の装着をおすすめしたいです」

母の補聴器はコレ!
メーカー/リオネット補聴器
タイプ/耳穴型(電池式)
価格/両耳で約30万円